

令和４年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
62	9/2	【クラッシュアイスレースの開催】 ・冬まつりに合わせ、買物公園でのアイススケートレースの開催	スポーツ課	参考受領	・アイスクロス（クラッシュアイス）のコースは長さ３００ｍ～５００ｍ程度・幅５ｍ程度が必要といわれており、平和通買物公園は一区画が６０ｍ弱のため３００ｍ以上のコースを作成するには間を走っている車両道路を通行止めにする必要があります。設置期間を含め数日でも通行止めにしますと周辺店舗や駐車場の出入りに支障があるため買物公園でのコース作成は難しい状況です。
			観光課	参考受領	・旭川冬まつりは、雪と氷とあかりの祭典であり、アイススケートもその趣旨にあった取組になるものと認識しております。しかしながら、旭川冬まつり開催期間中は、買物公園において氷彫刻世界大会が実施されており、旭川冬まつりの連携企画として開催されていることから、現状におきましては、買物公園でのクラッシュアイスレースの開催は困難です。
			地域振興課	参考受領	・アイスクロストラックの設営期間は、３週間程度は必要と考えられ、旭川冬まつり期間中の買物公園で開催するには、買物公園及び交差する各条において設営期間を含む交通規制が必要となります。また、同時期に買物公園で開催している氷彫刻世界大会の開催手法の整理が必要となることから、現時点では難しいと考えます。 ・一方で、アイスクロスの大会は、日本国内でも神奈川県横浜市や長野県小諸市で開催実績があり、前者は港湾の公園施設内で、後者はスキー場の斜面等を活用して実施していることから、積雪寒冷地の本市も実施可能性は有していると考えます。 ・御提案にあります世界選手権「レッドブル・クラッシュド・アイス」につきましては、今後開催状況等を注視してまいります。
54	9/12	【子どもたちの命を守る取組】 ・保育園等の送迎バス内への園児置き去り事故を防ぐため、クラクションを鳴らすなどの安全授業を行ってはどうか	こども育成課	実施予定	・静岡県で発生した送迎バスの事件を受け、本市では令和４年９月に市内の教育・保育施設に対する独自調査、さらに国から指示のあった調査も併せて実施し、各施設における実態の把握を行いました。 ・今後は、送迎にバスを使用している施設に直接赴き、送迎バスの対応等を確認する実地調査を実施し、安全対策が適切に行われているかの確認及び改善点に対する指導を行うとともに、クラクションを鳴らす訓練など、子どもが自らＳＯＳを発信できる取組につきましても、各施設に啓発していく予定です。

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
55	9/14	【スケートボードパークの設置】 ・福岡県飯塚市のように、旭川市にもスケボーパークを設置して欲しい	スポーツ課	検討中	・令和5年度に利用状況調査、他都市調査を行うとともに、設置場所の選定を行い、早ければ令和6年度の設計、設置を目指しております。 ・実施に当たっては、市内スケートボード関係者からパークのデザインやセクションの選定等の意見をいただくなど、設置に関して積極的に連携していく予定です。
56	9/20	【市内中心部でのW i - F i 環境整備】	情報政策課	実施済	・現在、旭川市中心部でフリーW i - F i を利用できる主な市有施設は、旭川市国際交流センター、旭川市市民活動センターC o C o D eなどのほか、令和4年度には、ときわ市民ホール、中央公民館で整備する予定です。今後も、必要性を検討し整備を進めたいと考えております。
			市民活動課	実施予定	・ときわ市民ホールのW i - F i 環境につきましては令和4年度中に1階研修室、ロビー及び4階多目的ホールへの整備を進めることとしており、整備完了後、W i - F i の利用状況や利用者の声を聞き、必要性を見極めながら、他の会議室へのW i - F i 環境の拡大整備について検討いたします。
73	9/20	【交通と観光施策について】 ・市民のバスを待つマナーが悪いので改善啓発をするべき ・路線バスにおける全国的な交通系ICカードの導入や、バス停に観光地名を盛り込むなど、観光都市を見据えた取組を行うべき ・ロータリーのローカルルールを改めるべき	観光課	実施済	・本市では、公共交通機関や観光関連団体などで構成された「旭川路線バス観光利用促進協議会」が、観光用バス乗車券の「あさくるパス」を発行しております。 ・「あさくるパス」は旭川市内での乗降であれば、一部の区間を除いて路線バスを乗り放題で利用できる乗車券で、1日券と2日券の2種類を観光案内所や宿泊施設等での販売に加え、携帯端末にアプリをダウンロードすることで利用できるモバイルチケット形式でも販売しております。また、旭川市旭山動物園などの観光スポットの入場料を割引するなどの特典もついており、お得にバスで市内を周遊できます。 ・なお、外国人観光客でも簡単に御利用いただけるよう英語版の案内パンフレットを制作し、観光案内所等で御案内しているほか、券面には英語の併記を行っております。 今後もより多くの方々に御利用いただけるよう周知を図ります。

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
73	9/20	<p>【交通と観光施策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のバスを待つマナーが悪いので改善啓発をするべき ・路線バスにおける全国的な交通系ICカードの導入や、バス停に観光地名を盛り込むなど、観光都市を見据えた取組を行うべき ・ロータリーのローカルルールを改めるべき 	都市計画課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの待ち合いにつきましては、広い歩道などではラインを引くことで利用者の整列を促しておりますが、モラル啓発につきましてはバス停やバス車内でのポスター掲示、高齢者を対象とした公共交通に関する出前講座など、バス事業者と協力しながら進めます。 ・路線バスにおける全国版交通系ICカードの導入につきましては、利用環境の整備に莫大な経費が必要となるため、バス事業者からは難しいことを伺っております。 ・また、現在のICカードは、1枚当たり約1,000円の製作コストがかかっていることから、利用者には長く利用いただきたい意向があることや、新たなデザインカードを用意する場合には、数千万円のコストが必要になるため、バス事業者としては、ICカードを記念やお土産などとして提供することには課題があると認識しております。 ・観光客に向けた路線バスの利便向上施策としては、旭川電気軌道株式会社及び道北バス株式会社のバスの定額乗り放題チケット「あさくるパス」を発売しており、モバイルチケット版ではスマートフォンでの利用や、クレジットカードによる決済も可能なため、観光客に対するさらなる周知についてバス会社とともに検討を続けます。 ・バス停の名称につきましては、最近では「青い池」バス停の追加や、「上川スクモ前」、「スタルヒン球場前」等、利用者の意見や要望を聞きながら、バス事業者が最寄りの観光地や施設に対応したバス停名称への変更を適宜行っております。 ・旭川駅周辺では、QRコードを活用した主要な観光施設へのバス案内板を設置しております。 ・また、バスロケーションシステムである「バスキタ！旭川」では、バス停、便等の一括検索や、「グーグルマップ」との連動により、地図上のバス停から行き先や運行状況が分かる取組を行っております。 今後、このような便利なシステムの周知について積極的に進めます。 ・ロータリーにつきましては、所管する北海道開発局とも共有しながら、御提案について今後の取組の参考とさせていただきます。

令和4年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
88	9/26	【オーガニック給食の導入について】	学校保健課	参考受領	<p>・オーガニック給食の導入につきましては、1日約2万3千7百食もの給食を提供するために、同程度の質の規格品を大量に調達する必要があります。また、献立に沿った調理を行うため、気候条件に左右されない安定的な食材の供給も必要となります。さらには、給食の提供に当たっては、必要な栄養素を確保することのほか、1食当たりの献立も給食費に収まるように食材の組み合わせを工夫しており、物価高騰による食材価格の上昇もあることから、実現に向けては多くの課題があると考えております。</p> <p>・また、現状におきましては、例えば米では、本市で生産される有機米は生産量が少なく、本市の学校給食を賄うことは難しいところであり、他の産地の米を購入する必要があるほか、現在のもより高額になることから、限られた給食費の中で有機米を購入することは困難な状況です。</p> <p>・本市の学校給食では、地場農産物の活用による地産地消の推進を重点的取組事項の一つとして掲げており、次世代を担う子どもたちには、旭川産米を食べてもらい、旭川産の農産物への興味と関心、さらには本市への愛着を持っていただきたいと考えております。</p>
69	9/30	<p>【庁舎への歩行補助用具の設置について】</p> <p>・庁舎に歩行補助用のカートを設置してほしい</p>	管財課	参考受領	<p>・歩行補助用具として人気のあるシルバーカーは、使う方の体に合ったものを使用する必要があり、体に合っていない場合、ブレーキ操作がしにくいことや、バランスが取りづらいことから、転倒事故のリスクが高まるとされています。</p> <p>・庁舎等にシルバーカーを設置する場合、使う方の体格や身体の様子が様々なため、個々の体に合わないまま使用すると転倒事故の恐れがあることから、歩行が困難な方には車椅子の使用を勧めております。</p> <p>・また、高齢の来庁者が長時間立って待つことがないよう、待合所の椅子を増やしたり、空いている席を勧めるなど、庁舎案内の改善に努めます。</p>